府立佐野工科高等学校の系・専科改編について

１　改編のねらい

○グローバル化やICT化の進展などにより産業構造は大きく変化した。佐野工科高校が所在する泉州地域の地域産業である繊維産業の形態も大きく様変わりした。

○専門知識や技術・技能の習得のみならず、こうした社会の変化に対応できる次世代のものづくり人材を育成することが必要である。

○以上の観点から佐野工科高校の系・専科の改編を行う。

２　改編の内容

（１）考え方

○創造性を育み、アイデアを形にして新しい価値・体験を提案する「創造的問題解決型」の次世代のものづくり人材を育成する。

○繊維産業の実情や生徒の多様なニーズを踏まえた改編を行うことにより、生徒の幅広いキャリアデザインを可能とする。

（２）系・専科の改編

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 改編前 |  | 改編後 |
| １年生 | ２・３年生 |  | １年生 | ２・３年生 |
| 系 | 専科 | 人数（学年） |  | 系 | 専科 | 人数（学年） |
| 総合募集<前期選抜> | 電気系 | 電気技術専科 | ４０人 |  | 総合募集<前期選抜> | 電気系 | 電気技術専科 | ４０人 |
| 電子制御専科 | ４０人 |  | 電子制御専科 | ４０人 |
| 機械系 | 機械技術専科 | ８０人 |  | 機械系 | 機械技術専科 | ８０人 |
| 機械設計専科 | ４０人 |  | 機械設計専科 | ４０人 |
| **テキスタイル系** | **プロダクト****工学専科** | ４０人 |  | **産業創造系****（仮称）** | **製品開発専科****（仮称）** | ４０人 |
| **デザイン工学****専科** | ４０人 |  | **テキスタイルデザイン専科（仮称）** | ４０人 |

（３）教育内容

○基本的な技術の習得に加え、「創造性」と「ICTを活用したものづくり技術」を連動させ、製品開発のための知識や技術を学習し、創造性や課題を解決していく能力を育む。

※「創造性」と「ICTを活用したものづくり技術」を連動した教育プログラムを開発する。

※そのカリキュラムを産業創造系（仮称）でモデル実施した上で、佐野工科高等学校の全ての系において展開を図る。

　　　※佐野工科高校の実践を検証し、他の府立工科高校へ応用することについて検討する。

○製品開発専科（仮称）

　・３Dプリンタの活用方法や、金属、木材等の工業全般の製品を学習対象とする

○テキスタイルデザイン専科（仮称）

・布製品のデザインを中心に、新素材も含めた繊維製品を学習対象とする

３　今後のスケジュール

|  |  |
| --- | --- |
| 　平成２６年６月 | 教育委員会会議（系・専科改編公表） |
| 　　　　〃 | 新系・専科準備委員会設置 |
| 平成２７年　２月 | 平成２７年度入学者選抜 |
| 　３月 | 大阪府立高等学校等の管理運営に関する規則　改正 |

５－２